

---

日本アナリスト協会 会社説明会

## 日本工営グループの現状と展望

2014年9月11日(木)

日本工営株式会社  
取締役 常務執行役員  
経営管理本部長  
有元 龍一

---

*NIPPON KOEI*

---

### 本日の進行について

---

- 1.会社概要および事業概要
- 2.今後の事業展開
- 3.質疑応答

---

*NIPPON KOEI*

# 会社概要および事業の概要

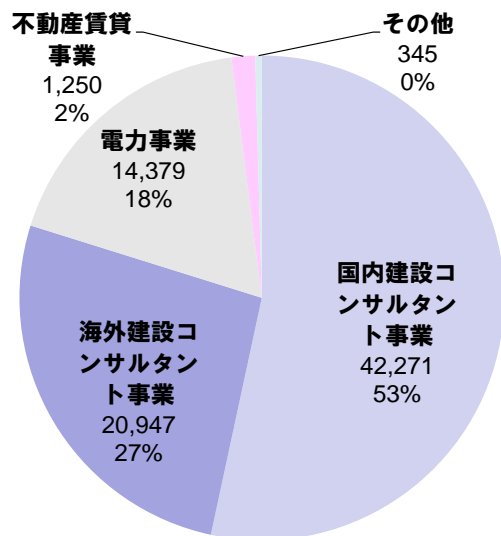
日本工営株式会社

## 会社概要

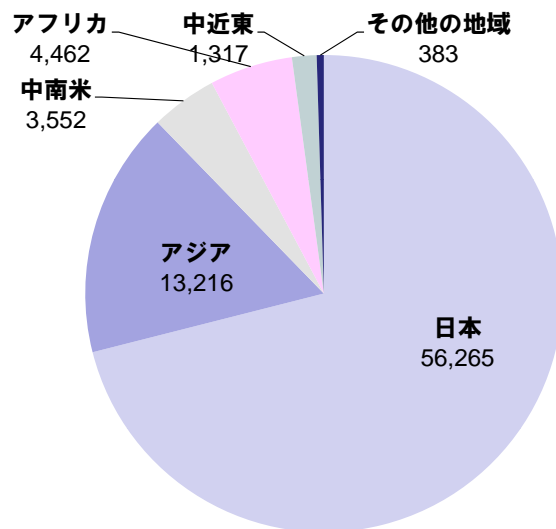
- 名称 日本工営株式会社(にほんこうえい)
- 所在地 本店:東京都千代田区、工場:福島県須賀川市
- 設立 1946年(昭和21年)6月7日
- 資本金 7,393百万円
- 従業員 2,991(連結)、1,845名(単独)
- 上場 東証一部(サービス:1954)
- 事業内容 ■国内・海外における**建設コンサルティング事業**  
■**電力エンジニアリング事業**
- 経営理念 誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。

# セグメント別の売上高の構成

## 事業別売上高比率



## 地域別売上高比率



2014年6月期実績(単位:百万円)

**NIPPON KOEI**

## 国内・海外建設コンサルタント事業

**NIPPON KOEI**

# 建設コンサルタント事業

例)A地域で慢性的な渋滞問題

- 道路を作るべきか、地下鉄を作るべきか
- 経済合理性はあるか
- 地形はどうか、どのような工法が最適か

調査、計画、設計などの  
技術サービスを提供

発注機関と建設コンサルタント会社が合意した  
仕様に基づく工事の実施(ゼネコンやメーカーなど)

施主側に立ち、施工業者が仕様  
に基づいた工事を行っているか  
監督(施工監理)

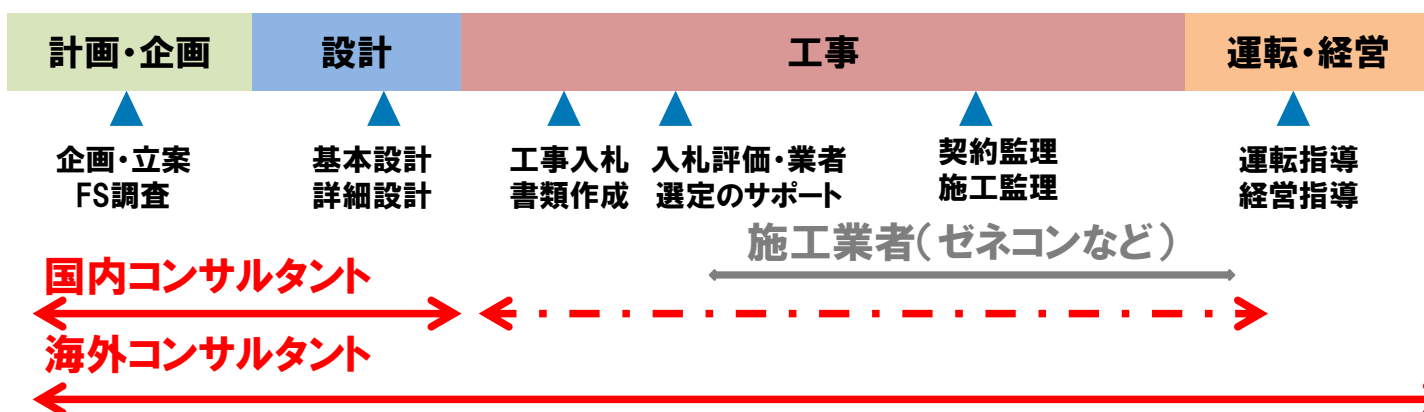
道路が完成(住民サービスとして提供)

NIPPON KOEI

# 建設コンサルタント事業

## コンサルタントの役割

事業全体の上流から下流まで広範囲に関与



## 主要顧客

国内:国土交通省などの一次官庁、都道府県、市町村などの二次官庁  
海外:国際協力機構(JICA)、相手国政府、国連・世界銀行など

NIPPON KOEI

## 業界での位置づけ(コンサルタント部門/日本)

順位	会社名	売上高(百万円)	
		建設コンサルタント部門	全体
1	日本工営(東証1部:1954) ※2013.3期決算数値	39,736	55,506
2	パシフィックコンサルタンツ(非上場)	35,904	37,381
3	建設技術研究所(東証1部)	28,557	30,059
4	オリエンタルコンサルタンツ(ACKグループ:JQS)	22,797	23,635
5	八千代エンジニアリング(非上場)	16,799	17,169
6	いであ	14,293	14,907
7	ニュージェック	13,993	14,324
8	国際航業	13,836	32,659
9	エイト日本技術開発	13,591	15,350
10	日水コン	13,317	14,476
17	玉野総合コンサルタント(都市計画・まちづくりに強い)	8,557	10,383
81	日本シビックコンサルタント(地下空間設計・トンネルに強い)	1,782	1,821

※出典:日経コンストラクション2014年6月9日号  
建設コンサルタント部門売上高ランキング(決算内容一覧)

**NIPPON KOEI**

## 業界での位置づけ(コンサルタント部門/Global)

順位 (enl neer)	順位 (全体)	会社名	2013年 売上高 (百万ドル)	順位 (enl neer)	順位 (全体)	会社名	2013年 売上高 (百万ドル)
1	10	ARCADIS NV, Amsterdam, The Netherlands	3,341.0	12	41	Grontmij NV, De Bilt, The Netherlands	1,012.3
2	13	Tetra Tech Inc., Pasadena, Calif., U.S.A.	2,542.0	13	44	COWI, Kongens Lyngby, Denmark	975.5
3	16	WSP, Montreal, Quebec, Canada	2,325.7	14	45	Aurecon, Melbourne, Victoria, Australia	963.2
4	20	Mott MacDonald, Croydon, Surrey, U.K.	2,011.6	15	49	Royal HaskoningDHV, Amersfoort, The Netherlands	865.2
5	26	ARUP Group Ltd., London, U.K.	1,556.2	16	51	Poyry, Vantaa, Finland	864.0
6	30	Ramboll Group A/S, Copenhagen S, Denmark	1,389.8	17	56	Tractebel Engineering, Brussels, Belgium	650.9
7	33	AF AB, Stockholm, Sweden	1,300.7	18	60	SYSTRA, Paris, France	611.8
8	34	SWECO, Stockholm, Sweden	1,261.0	19	63	Mouchel, Woking, Surrey, U.K.	581.3
9	36	Golder Associates Corp., Mississauga, Ontario, Canada	1,226.0	20	66	Sargent & Lundy LLC, Chicago, Ill., U.S.A.	521.7
10	37	Egis, Saint-Quentin-en-Yvelines, France	1,214.8	21	67	Nippon Koei Group, Tokyo, Japan	514.8
11	38	Cardno Ltd., Brisbane, Queensland, Australia	1,193.9	22	70	Hyder Consulting, London, U.K.	472.1

※出典: ENR.com : The Top 150 Global Design Firms 2014

**NIPPON KOEI**

# 事業セグメント別の状況(国内)

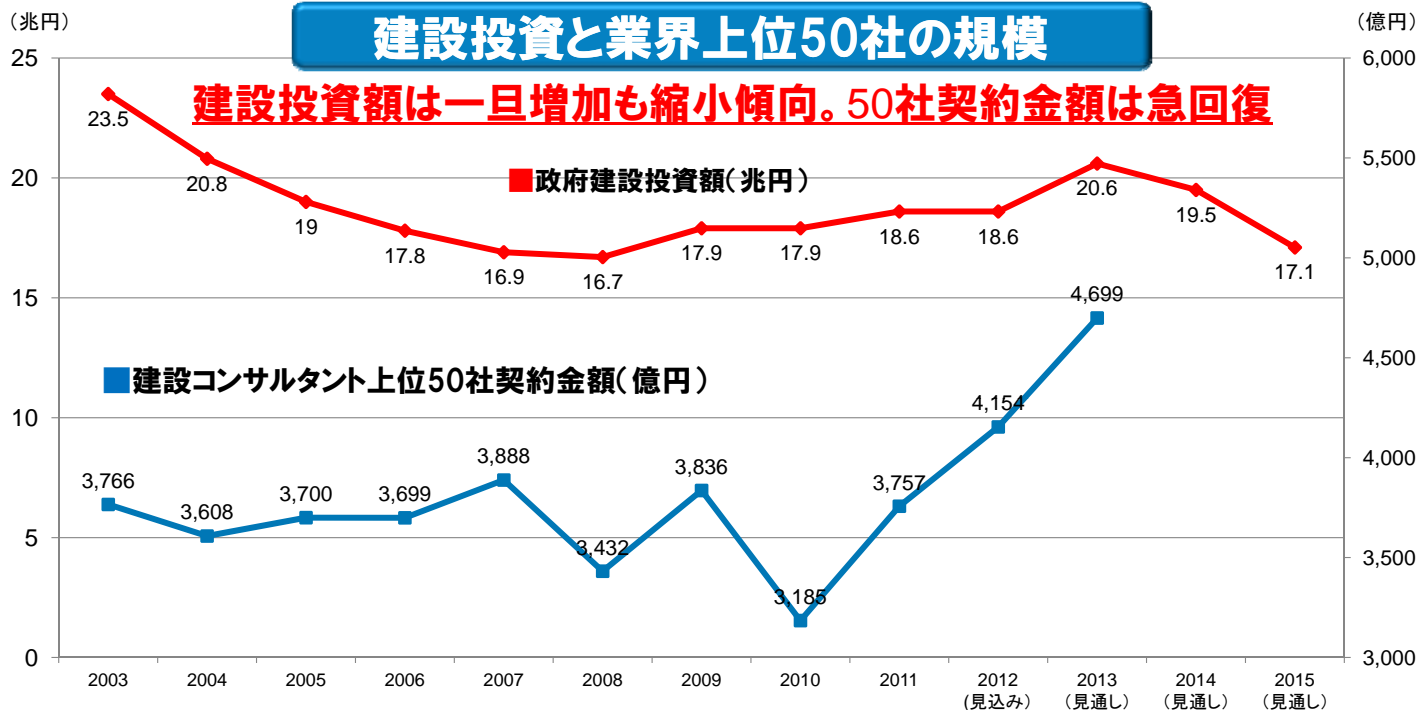
## 国内建設コンサルタント事業

- 年間約**3,000件**のプロジェクトに対応
- 震災後、**復興**事業に関する業務の受注が好調に推移
- 津波対策・耐震化施策等の**防災・減災**関連業務の受注が増加
- 公共施設に係る長寿命化や機能保全を図る案件等の**マネジメント業務**の受注が増加
- 局地的な**集中豪雨**や広域地震や火山噴火などに伴う**土砂災害**等の各種の災害に対し、常に第一線で対応

NIPPON KOEI

## 国内建設コンサルタント事業の市場環境

### 建設投資と業界上位50社の規模

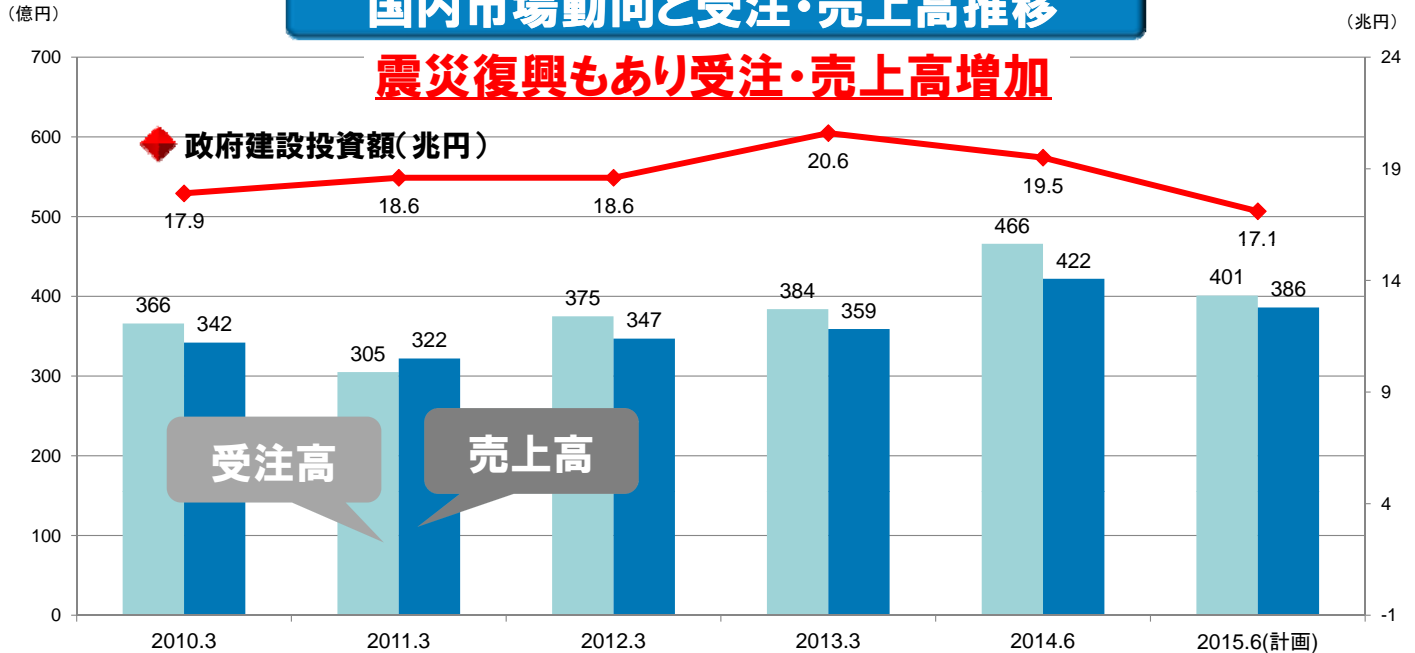


NIPPON KOEI

# 国内建設コンサルタント事業の市場環境

## 国内市場動向と受注・売上高推移

震災復興もあり受注・売上高増加



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

NIPPON KOEI

# 事業セグメント別の状況(海外)

創業以来コンサルティングサービスを実施したことがある国と地域



(参考)国連加盟国数は193カ国(外務省HPより)

NIPPON KOEI

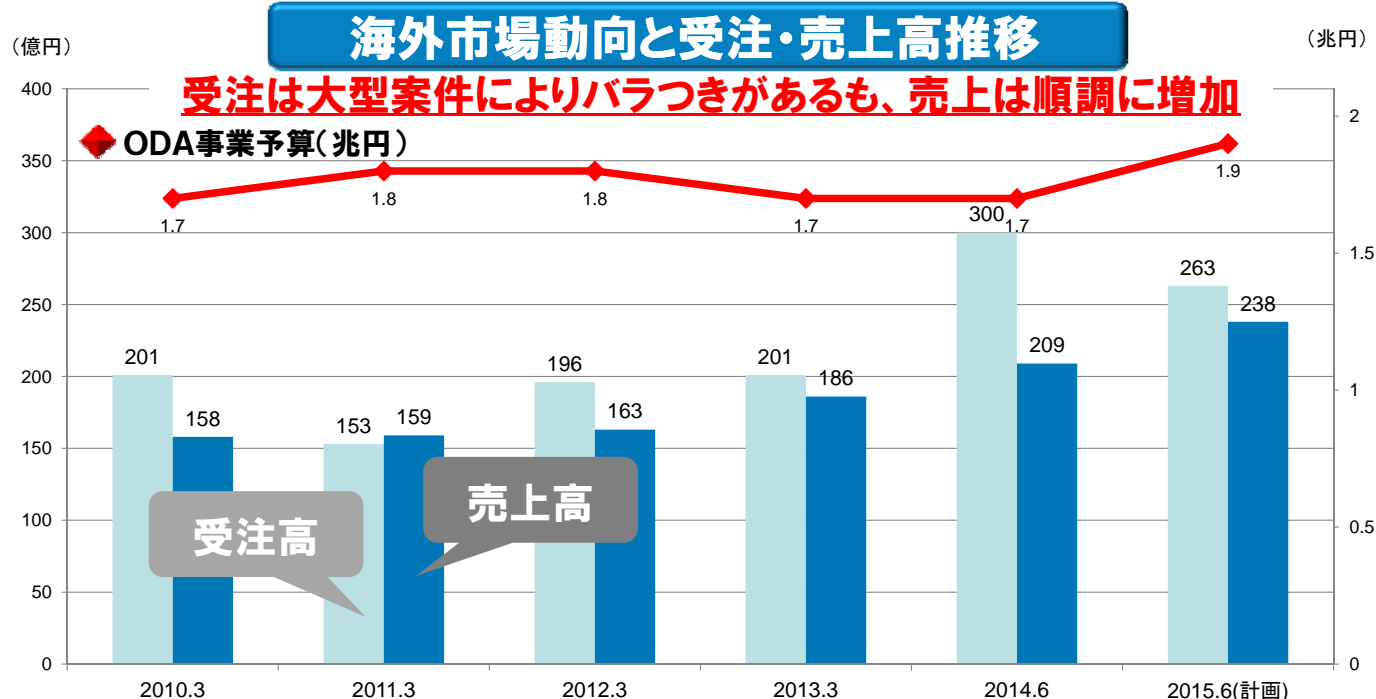
# 事業セグメント別の状況(海外)

## 海外建設コンサルタント事業

- **世界40ヶ国**、年間**300件**あまりのプロジェクトを実施
- **ODA資金**に基づく案件の受注  
新興国においてインフラ開発の需要が高まり、都市インフラの整備・開発案件の受注が拡大
- **中南米、サハラ砂漠以南のアフリカ諸国**や**ミャンマー**など新興市場への営業展開を強化
- **民間資金**による小水力発電事業、工業団地開発事業などの案件にも多くの実績

NIPPON KOEI

## 海外建設コンサルタント事業の市場環境



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

NIPPON KOEI



# 電力エンジニアリング事業

NIPPON KOEI

## 電力エンジニアリング事業

### 日本の電力ネットワーク

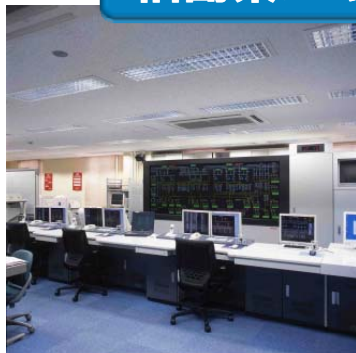


■電力流通（配電・変電）設備、水力発電施設の製造および設置工事、変電所工事、電力関連機器・装置などの製作・販売

NIPPON KOEI

# 電力エンジニアリング事業

## 福島県にある工場で製造



・電力系統の監視制御を効率的に行う集中監視制御システムの製造



・水力発電用の水車・発電機の製造  
・その他電力機器の製造



・変電所、発電所などの新設・改修工事

## 主要顧客

東京電力(株)をはじめとする電力会社

NIPPON KOEI

# 事業セグメント別の状況(電力)

## 電力事業

- 主要顧客である電力会社は設備投資や修繕費等の予算が削減される厳しい環境
  - ▶ 老朽設備の更新業務等について提案型の受注活動に努力
  - ▶ 活性化する水力発電の国内外の市場への営業強化

国内における新規顧客から固定買取制度(FIT)を適用した水力発電所の全面的な更新工事を受注

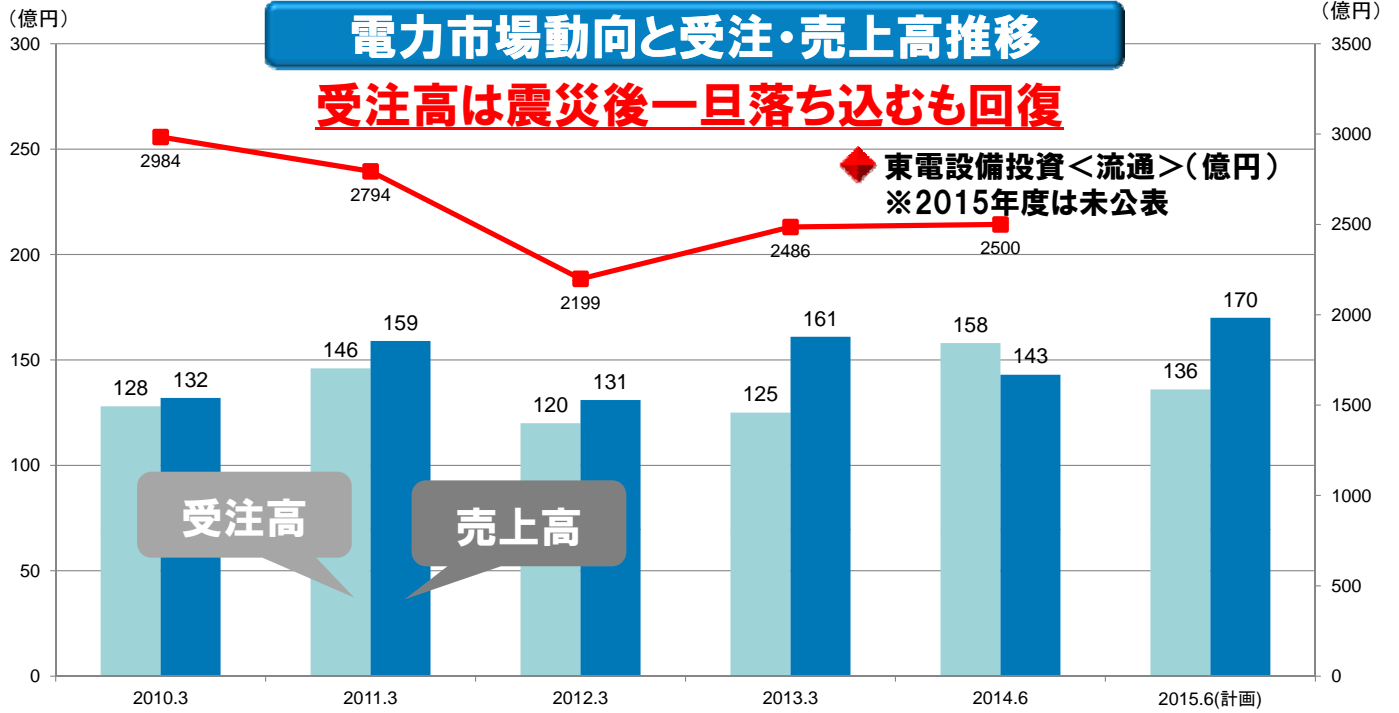
NIPPON KOEI

# 電力事業の市場環境

## 電力市場動向と受注・売上高推移

**受注高は震災後一旦落ち込むも回復**

◆ 東電設備投資<流通>(億円)  
※2015年度は未公表



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

**NIPPON KOEI**

# 事業のフィールド

**社会インフラに関するあらゆる分野に当社の事業フィールドは広がっています。**



**NIPPON KOEI**

# 今後の事業展開

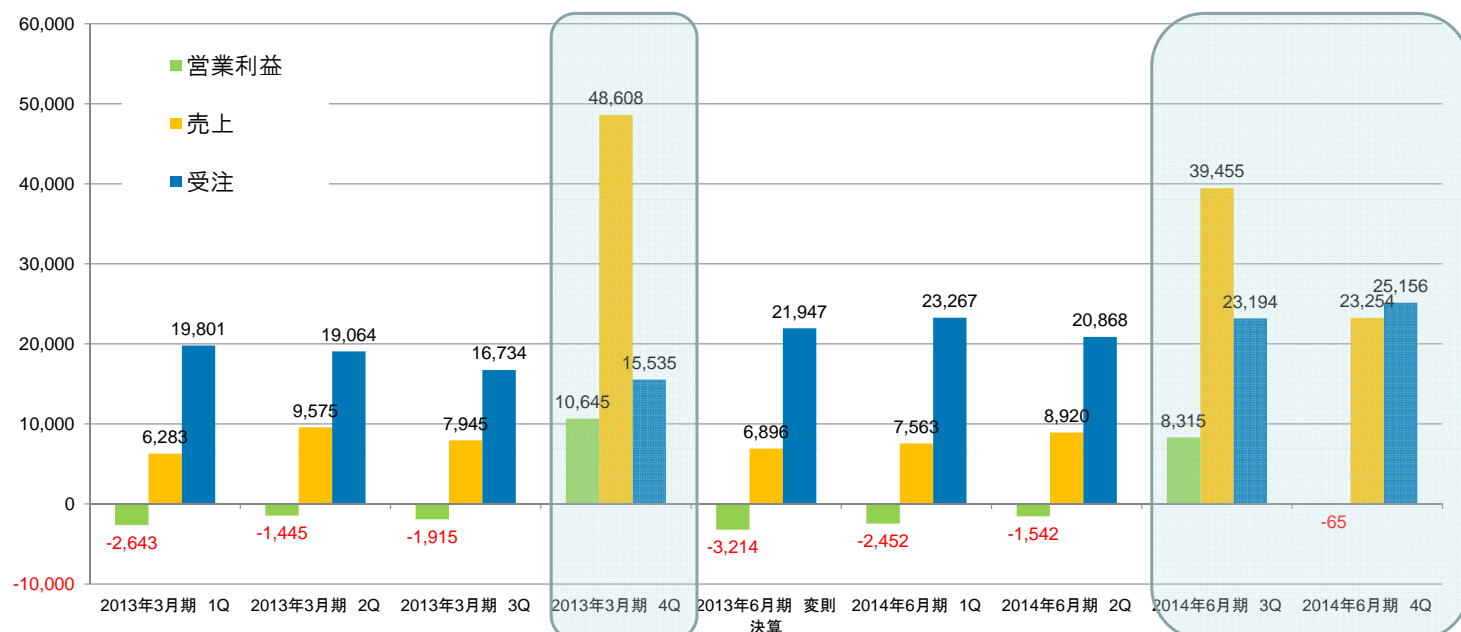
日本工営株式会社

## 主な経営指標の推移

	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月 (過去最高益)	2013年6月 (突則決算)	2014年6月 (過去最高売上)
受注高(百万円)	69,682	60,531	69,268	71,134	21,947	92,485
売上高(百万円)	65,095	65,806	65,945	72,411	6,896	79,193
経常利益(百万円)	3,644	2,697	3,326	5,086	△3,156	4,256
当期純利益(百万円)	2,025	1,207	1,419	2,849	△1,914	2,998
純資産額(百万円) (一株:円)	43,361 (540)	43,698 (546)	43,505 (572)	46,928 (617)	43,671 (574)	47,835 (626)
総資産額(百万円)	80,100	74,740	79,371	84,795	71,450	76,144
自己資本比率(%)	53.8	58.1	54.5	55.0	60.8	62.4
従業員数(人)	2,751	2,780	2,776	2,880	2,919	2,991
一株配当(円)	7.5	10.0	7.5	7.5	2.0	7.5
自己株取得 (取得:百万円)	800千株 (216)	200千株 (47)	3,862千株 (1,043)	— (-)	— (-)	— (-)
株価: 最高(円) 低(円)	336 213	338 206	310 231	424 253	415 336	542 330

# 決算期変更前後の変化

2014年6月期は1月～6月にかけて売上・利益が計上された



NIPPON KOEI

## 今後の事業展開

- 短期的には国内市場環境の好調が見込まれる
- アジア諸国をはじめとする新興国の成長を活力にして海外におけるインフラ整備の需要が増加



グローバル化をさらに推進

NIPPON KOEI

## 今後の事業展開

### グローバル化をさらに推進

- ▶ 日本国内において確固たる技術的基盤を維持
- ▶ 拡大を続ける新興国のインフラ整備市場に軸足を置いて、海外拠点を中心に事業を拡げる
- ▶ 新たな事業領域を開拓・形成して持続的成長を図る

NIPPON KOEI

## 中期経営計画

### 中期経営計画

「グローバル展開の強化」「新たな事業領域の開拓と形成」

- 1 海外事業拠点の整備とマルチ・ドメスティック運営の導入
- 2 既存事業分野の強化と事業領域の拡大
- 3 新たなビジネスモデルの開拓と事業運営への参画
- 4 ワークライフバランスの確保

NIPPON KOEI

## 中期経営計画

### 重点課題への取り組み

#### ① 海外事業拠点の整備とマルチ・ドメスティック運営の導入

①アジア圏 ②中東・北アフリカ圏 ③中南米圏 ④サブサハラ圏  
4つの営業圏に地域拠点を設置。

▶ 地域密着型の営業・生産体制に基づく事業を推進

- 技術・品質・安全面での支援
- リスク管理の徹底
- マネジメントの強化
- ガバナンスの強化
- グローバル人材の確保

▶ ODA以外の資金による事業にも積極的に取り組む

NIPPON KOEI

## 中期経営計画

### 重点課題への取り組み

#### ② 既存事業分野の強化と事業領域の拡大

事業毎に拡大すべき事業領域を明確にし

▶ 技術の開発 ▶ 人材の確保および育成・強化

着実に事業の拡大を図る

国内建設コンサルタント事業 ▶ 防災・減災、インフラ長寿命化(維持管理業務)など

海外建設コンサルタント事業 ▶ 新興国における鉄道、都市開発分野など

電力事業 ▶ 機電コンサルティング分野、老朽化設備更新業務など

NIPPON KOEI

## 中期経営計画

### 重点課題への取り組み

#### ③ 新たなビジネスモデルの開拓と事業運営への参画

▶ 水力発電事業を核とする「エネルギーセグメント」を新たなビジネスモデルの柱とする

- 海外インフラファンドへの投資
- ファンドへの技術アドバイザリーサービスの提供

▶ アセット保有型の新たな技術サービスモデルの開発

NIPPON KOEI

## 中期経営計画

### 重点課題への取り組み

#### ④ ワークライフバランスの確保

ワークライフバランス推進委員会

▶ これまでの施策を継続 ▶ 新たな課題への取り組み

- それぞれの環境に見合った就業環境の構築
- 意識改革・業務プロセス改革を一層強化

仕事と生活の調和の実現

NIPPON KOEI



# 2015年6月期の見通し

## 業績の見通し(連結)

連結売上高 **810**億円

営業利益 **40**億円

経常利益 **42**億円

当期純利益 **22**億円

配当 (予定) **7**円**50**銭

NIPPON KOEI

# 2015年6月期の見通し

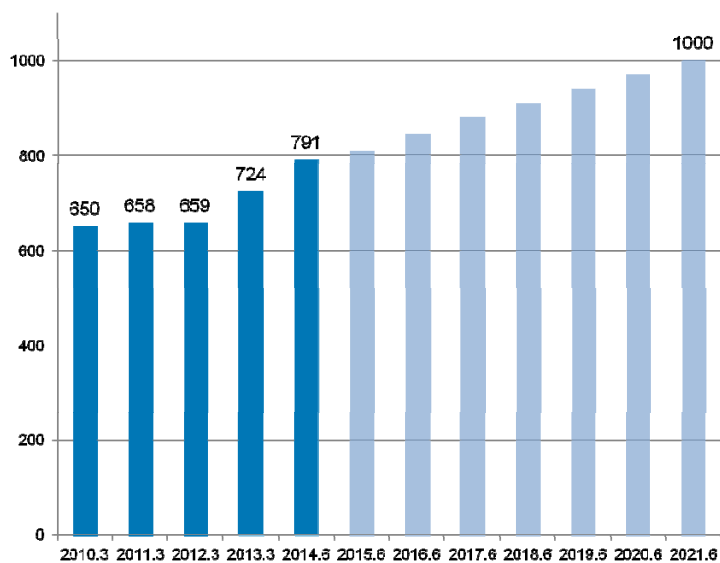
## 事業部門では増収増益の計画

	セグメント	2013.03(実績)		2014.06(実績)		2015.06(計画)		備考
受注高	国内	384	710	466	924	401	800	震災関連の受注減。予算縮小。 競争環境激化
	海外	201		300		263		
	電力	125		158		136		
	全社	711		924		800		
売上高	国内	359	706	422	774	386	794	
	海外	186		209		238		
	電力	161		143		170		
	全社	724		791		810		
営業利益	国内	11.6	44.7	25.0	44.1	13.8	47.1	
	海外	13.4		6.5		15.6		
	電力	19.7		12.6		17.7		
	全社	46.4		42.5		40.0		社屋建替えのため加速償却等一般管理費増
経常利益	全社	50.8		45.4		42.0		
当期純利益	全社	28.4		29.9		22.0		昨年は子会社の繰延べ税金資産の見直しがあつた

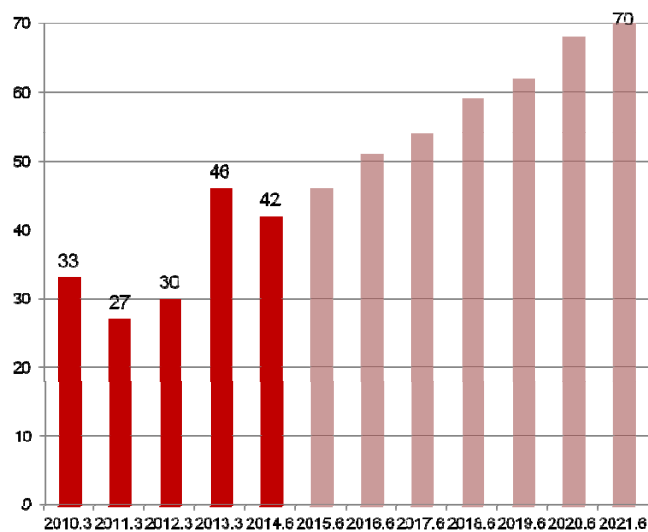
NIPPON KOEI

# 2015年6月期以降の目標値

売上高  
2020年度 1,000億円



営業利益  
2020年度 70億円



※2013年6月期は決算期変更に伴う3ヶ月の変則決算につき割愛

**NIPPON KOEI**